

「予習型家庭学習」のススメ

令和2年4月10日 梨香台小学校長

日頃より、本校教育活動にご理解ご協力いただき、誠に有難うございます。

さて、お休みが長くなり、どのように勉強してよいか悩んでいるお子様も多いことと思います。

そこで、下記のような学習方法はいかがでしょうか。新しい教科書などの、あくまでも家庭学習の一例ではございますが、ご参考になれば幸いです。

※予習型家庭学習は、民間の学力研究所等の調査により推奨されています。

○国語科の例

- ・音読… 教科書を声に出して読むことで、耳からも情報が入ることで脳トレ！
- ・視写… 教科書の文章は、選ばれた名文が多く、書き写すことで正しい日本語を習得！
- ・漢字… ドリル等を活用し、書き順や漢字の成り立ちなど調べることで語彙力向上！
- ・意味調べ… わからない言葉の意味を辞書やネットで調べることで語彙力向上！
- ・そのほか、文章の最後に「確かめよう」「考えよう」（学年により言葉が違います）…などの問題がありますので、自分の考えや意見をまとめていくことで、思考力・判断力・表現力を磨けます。

○算数科の例

- ・算数の教科書は、1ページまたは見開きで2ページ目くらいまでで構成されています。始めに問題が提示され、次に考え方や解説があり、最後に練習問題があります。そこで、考え方や解説を見ないで（隠して）、問題を解くことが大切です。答えを見てしまうと、思考が停止してしまうため、まずは自分で考えてみるのが大切です。算数などの場合、答えを覚えることは、応用問題が解けなくなるため、多様な解き方をひらめかせることが最も大切です。

○社会科の例

- ・初めて見たり読んだりする内容が多いと思います。そこで、大切だと思う情報にアンダーラインを引いたり、自分の日常生活と結び付けて考えたり、さらに資料集やネットで調べる学習をしたり…ノートに、箇条書きにまとめたりしながら、自分なりのサブノート（大切な部分を□に隠す問題集）を作ると脳に定着し、いつまでも記憶に残るものになります。

○理科の例

- ・物理化学の分野は、実際に授業が始まり、実験がとても大切になります。なぜ、この実験を行うのか、もっとこんな実験をしたら、自然現象が解明できる…など、考えることが大切です。
- ・生物地学の分野は、実際に外で動植物の観察をしたり、資料集やネットで調べたりすると映像も見られるので、より一層学習が深まります。科学全般に、「どうしてだろう」「不思議だなあ」との思い（問い）から、自分で計画したり実験観察したりすることで、「自由研究」につながります。

○その他の教科

- ・歌や楽器の練習 ・お料理や裁縫（マスク） ・絵や工作 ・縄跳びやジョギング、ダンスや体操
- ・英語を聞く ・読書は全ての教科に通じる、読解力が向上する、とも言われています。

※「教科書は最高の参考書」という言葉もあります。使い方により色々な知識が習得できます。

また、教科書等の問題は一度だけでなく、何度も解くことで、理解の定着につながります。

そして、学校再開後、授業での多様な対話や交流を通して、より一層学びを深めてまいります。